

海外留学中の 危機管理 ガイドブック

—— 自分の身を守り、安心して学び、成長するために ——



安全対策



事故・病気への備え



トラブル対応



関係機関・連絡先



九州産業大学

グローバル教育センター

目次

1. はじめに	1
2. 渡航前に行うこと	2
・ 出発予定日・行程の連絡	
・ 海外旅行傷害保険への加入	
・ 外貨の購入・クレジットカードの取得・パスポート紛失時対応など	
3. 海外渡航時の心構え①・②	3～4
防火・防犯に関する注意事項	5
4. 九州産業大学 海外渡航時の危機管理対応体制	6
5. 海外渡航の前に知っておこう！～日本と違う海外の法律～	7～8

1. はじめに

近年、国際的な人の往来は回復傾向にあり、本学においても海外へ渡航する学生が増加しています。しかしながら、海外では日本とは異なる社会制度、文化、慣習、法令の下で生活することとなり、予期せぬ事故や事件、災害等に遭遇する可能性があります。

特に、初めて海外へ渡航する学生は、不慣れな環境の中で判断を求められる場面や、不安を感じる場面に直面することが少なくありません。そのような場合には、自己判断のみに頼ることなく、信頼できる情報源や各種ツールを活用して正確な情報を収集するとともに、必要に応じて関係者へ速やかに相談してください。

また、過去に海外渡航の経験がある学生についても、渡航先の国・地域によって法令、生活習慣、宗教的背景、治安状況等は大きく異なります。過去の経験や慣れによる油断は思わぬ事故やトラブルにつながる可能性があるため、常に最新の情報を確認し、高い危機管理意識を持って行動することが求められます。

海外渡航は、異なる文化や価値観に触れ、国際的な視野を広げる貴重な機会です。一方で、その成果は渡航前の準備と渡航中の適切な行動に大きく左右されます。本ガイドを十分に活用し、必要な知識と備えを整えたうえで、安全かつ有意義な海外渡航を実現してください。



2. 渡航前に行うこと（例）各授業担当者に必ず確認を行ってください。

○出発予定日・行程の連絡

出発の行程が決定したら、以下の書類をグローバル教育センターに提出して下さい。

①航空券コピー ②パスポートコピー ③海外旅行傷害保険への加入証明書コピー

本学では、JCSOS(海外留学生安全対策協議会) 危機管理システムへ、渡航者情報を登録しています。

○海外旅行傷害保険への加入

海外での医療費は非常に高額です。特にアメリカは非常に高く、例えば虫垂炎（盲腸炎）の場合、手術費用を含めて100万円以上かかるケースもあります。海外旅行傷害保険は、病気、事故、賠償責任、盗難などに対応できるので保険契約の内容を検討の上、必ず加入して下さい。

○外務省海外旅行登録「たびレジ」の登録 <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

外務省からの最新の安全情報を日本語で受信できる、海外安全情報 無料配信サービスです。メールアドレス・配信期限・渡航地域を登録すると、現地の大使館や領事館から、事件や事故の情報、事前の注意喚起が配信されます。

○外貨への両替

外国為替取扱銀行あるいは、空港で準備して下さい。現金は、紛失や盗難のおそれがあるので必要以上に所持しないで下さい。現金を持ち歩く金額は、最小限にとどめて下さい。

○クレジットカードの取得

海外渡航に際しては、クレジットカードを取得しておくことを推奨します。クレジットカードは海外における支払い、宿泊施設の利用、各種予約等で広く利用されており、現金を多額に携行するリスクの軽減にもつながります。

カード利用時には、請求金額を必ず確認したうえで署名または暗証番号を入力し、不正利用防止のため利用明細を定期的に確認してください。

○家族へ連絡すること・渡しておくもの

- ・パスポートのコピー
- ・出発日・帰国日
- ・派遣先大学の住所、滞在先の連絡先など



○パスポートの紛失・盗難に備えて

海外ではパスポートの紛失や盗難が発生することがあります。万一来るべく、パスポートのコピー又は写真データを保管し、家族にもコピーを渡しておいてください。パスポートを紛失又は盗難された場合は、速やかに現地警察へ届け出るとともに、日本大使館・総領事館へ連絡し、必要な手続きを行ってください。

3. 海外渡航時の心構え①

①「自分のことは自分で守る」という気概をもつこと

海外では、日本とは異なる法制度、社会環境、文化及び生活習慣の中で生活することになります。大学や受入機関は必要な支援を行います、24時間すべての行動を管理・保護することはできません。したがって、自身の安全及び健康の確保は、自らの責任において行う必要があります。特に、犯罪や事故は観光地や繁華街だけでなく、日常生活を送る地域においても発生しています。「自分だけは大丈夫」「これまで問題がなかったから今回も大丈夫」という考えは非常に危険です。渡航中は常に周囲の状況に注意を払い、危険が予想される場所や行動を避けるとともに、貴重品の管理、施錠の徹底、見知らぬ人物への対応など、基本的な安全対策を怠らないでください。

➡「自分の身は自分で守る」という意識を常に持ち続けてください。

②情報収集に徹すること

海外では、治安情勢、気象状況、感染症、交通事情、法令及び社会情勢などに関する情報を自ら収集し、適切に判断することが求められます。情報不足や誤った認識は、犯罪被害や事故、各種トラブルにつながる可能性があります。現地のニュース、政府機関、大使館・総領事館、受入機関等が発信する情報を日常的に確認し、危険情報や注意喚起には十分留意してください。また、インターネット上の情報には誤りや古い情報が含まれる場合があるため、複数の信頼できる情報源を確認することが重要です。

➡「知らなかった」では済まされない場合があります。常に最新の情報を確認してください。

③無理をしないこと

海外生活では、慣れない環境や文化の違いから、精神的・身体的な負担を感じる場合があります。

体調不良や精神的な不調を感じた場合は、症状が軽微であっても放置せず、速やかに受入機関、現地担当者、ホストファミリー、本学又は医療機関へ相談してください。問題を一人で抱え込むことで、状況が悪化し、学業や生活に重大な支障を生じる場合があります。相談することは決して恥ずかしいことではありません。

➡ 困ったときは、一人で抱え込まず、必ず相談してください。

④自分を過信しないこと

海外では、日本と同じ感覚や常識が通用しない場合があります。

十分に注意しているつもりでも、言語や文化の違い、制度の相違等により、予期しないトラブルに巻き込まれることがあります。特に、金銭の貸し借り、契約書への署名、住居契約、アルバイト、オンライン取引等については、内容を十分に理解しないまま判断しないでください。少しでも不明な点や不安がある場合は、必ず信頼できる関係者へ相談してください。「自分は大丈夫」「自分だけは被害に遭わない」という思い込みが、最も大きなリスクにつながります。

➡ 自分を過信せず、迷ったら確認し、慎重に行動してください。

3. 海外渡航時の心構え②

⑤麻薬について

海外で麻薬等の違法薬物に関わることは、極めて重大な結果を招く可能性があります。国や地域によっては非常に重い刑罰が科される場合があります。現在も薬物犯罪により海外で服役している日本人がいます。

また、現地で合法とされている国や地域であっても、日本の法律により処罰の対象となる場合があります。興味本位や周囲からの誘いであっても、絶対に関わってはいけません。

薬物犯罪は、自身の将来や学業だけでなく、家族や関係者にも大きな影響を及ぼします。海外では、いかなる理由があっても違法薬物には絶対に関わらないでください。

➡「一度の軽率な判断が、将来を大きく左右することがあります。違法薬物には絶対に関わらないでください。」

⑥マナー違反について

海外では、日本人一人ひとりの行動が日本全体の印象につながることがあります。過去には、世界遺産や観光施設への落書きなどが大きな問題として報道された事例もあります。

落書きや施設の損壊はマナー違反であるだけでなく、現地の法律により処罰の対象となる場合があります。渡航中は、九州産業大学の学生としての自覚を持ち、現地の文化やルールを尊重し、責任ある行動を心掛けてください。

➡「海外では、皆さん一人ひとりの行動が日本人全体の印象につながります。現地の文化やルールを尊重し、責任ある行動を心掛けてください。」

⑦海外渡航期間中における防火・防災について

過去に、本学協定校の学生寮において火災が発生し、建物の一部が焼損する事例がありました。幸いにも本学の派遣学生に人的被害はありませんでしたが、私物が損傷するなどの被害が発生しました。

火災は、被害者となるだけでなく、出火原因を作った場合には人命に関わる重大な事故や高額な損害賠償につながる可能性があります。

渡航中は、ホテル、学生寮やアパートなどの共同生活の場において、防火・防災に関するルールを遵守し、日頃から火気の取扱いに十分注意してください。また、避難経路や非常口の位置を事前に確認し、緊急時に適切な行動が取れるよう備えておいてください。

安全な海外生活を送るため、別紙「防火・防災に関する注意事項」を必ず確認してください。

以上の項目は、海外で安全かつ有意義に生活するための基本的な心構えです。

海外では、事故や犯罪などのリスクを完全に避けることはできません。しかし、正しい知識を持ち、日頃から注意して行動することで、多くの危険を未然に防ぐことができます。常に安全を意識し、現地のルールや文化を尊重しながら、充実した海外生活を送ってください。

「安全への意識を忘れず、実りある海外研修となることを願っています。」

◆防火・防犯に関する注意事項◆

- 調理用の火器（電気コンロ・ガスコンロ等）を使用する場合は、その場を決して離れないこと。
- 暖房用の火器（電気ストーブ・ガスストーブ・その他発熱する用品）の取り扱いには十分注意すること。
- 調理用の火器や暖房用の火器を各々の使用目的以外（衣類・タイルの乾燥等）に利用しないこと。
- 火気を発生させる物の付近に可燃物を近づけないこと。
- 火気を発生させる物の取り扱いに十分注意すること。
- 学生用宿舎及び日常使用する校舎の構造を把握すると共に、避難誘導経路を確認しておくこと。
- 学生用宿舎及び日常使用する校舎に設置されている消火器や消火栓の位置を確認しておくこと。
- 火災報知器が発動した場合、誤報であると自分で判断せず、緊急に避難すること。

各国の渡航情報の確認をしよう！

外務省海外安全ホームページ

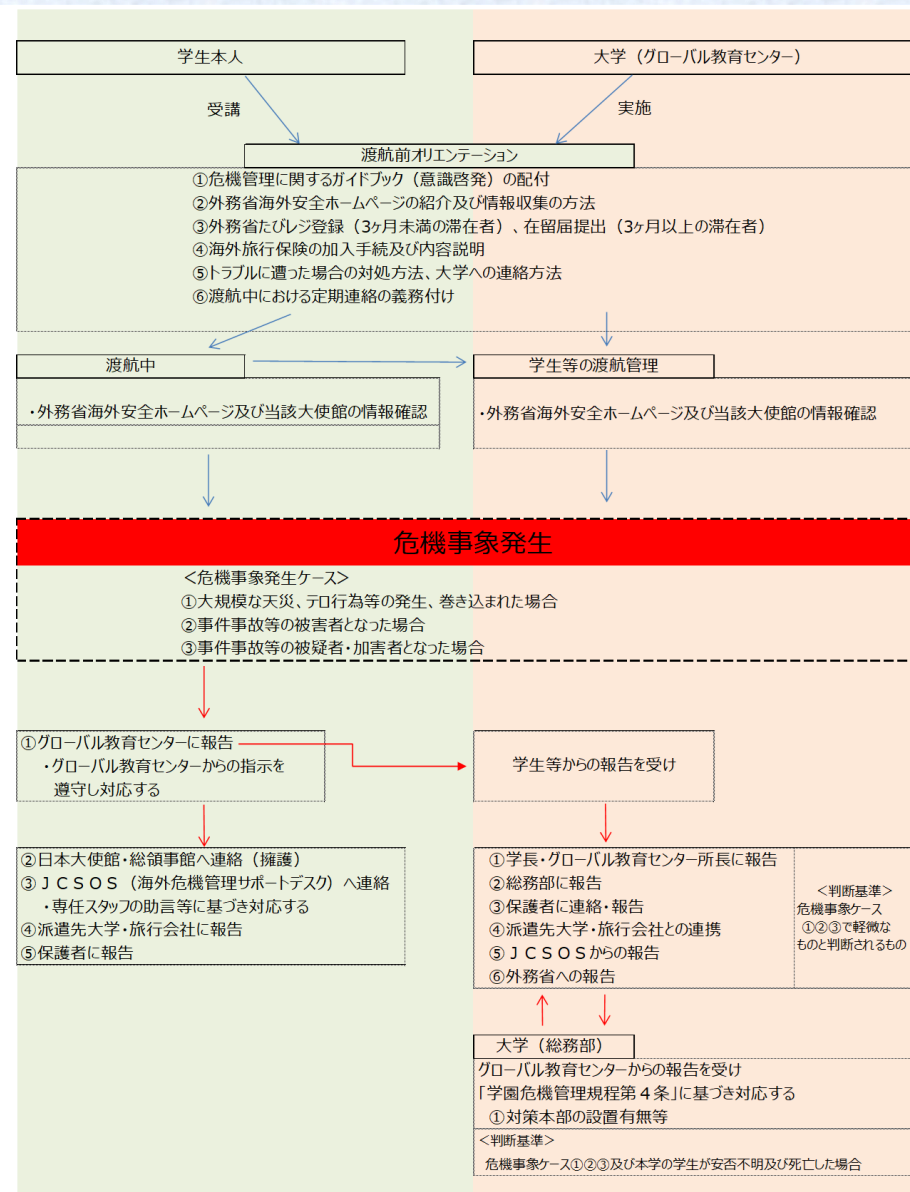
PC版 <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

携帯版 <http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>



4. 九州産業大学 海外渡航時の危機管理対応体制（参考）

※学部授業等における海外研修については、本対応体制に加え、担当教員から別途指示される緊急連絡体制等が適用される場合があります。その場合は、担当教員の指示に従ってください。



5. 海外渡航の前に知っておこう！～日本と違う海外の法律～

◎ はじめに

海外留学や旅行をするときに、みなさんは何を調べますか？
観光地、グルメ、ショッピング、通貨、...

その前に一番大事なことは現地の法律です。

国によって通貨が違いうように、法律も違います。
事前にしっかりと現地の法律を調べて、トラブルに巻き込まないようにしましょう。

◎ 海外旅行前に現地の法律を知っておくべき理由

なぜ事前に海外の法律を知っておく必要があるのでしょうか？
日本では大丈夫でも、海外では違法で罰金を払うことになったり、危険な目に遭ったりすることがあります。
せっかく海外旅行するのであれば、楽しい思い出とともに安全に帰国したいですね。
悲しい思い出を作らないためにも、事前にしっかりと調べておきましょう。

◎ なぜ大麻の使用を「合法」とした国（地域）があるのか？

①大麻を合法化している国があるが、やはり**大麻が心身に害を及ぼすものであることは万国共通の認識**である。

②長い歴史の中で、**大麻を嗜好品**としてきた国もあり、**現在では規制できないほど蔓延**してしまった国もある。

③規制を厳しくしても**反社会勢力**らが**安定的に供給**しているので**常習者が減らない上、中には粗悪品も多く流通**して、**更に悪循環**となった。

④政府は「**やむを得ず合法化**」にして、**大麻の流通量をコントロールし、国民の健康被害を最小限に止めよう**としただけ。（**反社会勢力の資金源を断つことも狙い**）

合法化した理由は、**規制できないほど蔓延してしまったから！**
「心身に無害」は大きな間違い！！

合法としている国や地域で使用した者も日本の法律による処罰対象となります。
（大麻取締法第24条の8）

国別 飲酒・喫煙・大麻に関する法規制一覧

国・地域	お酒	タバコ	嗜好用大麻 (マリファナ)
日本	20歳以上	20歳以上	違法
アメリカ	21歳以上 ※州によって異なります。	21歳以上 ※州によって異なります。	違法 ※州によって異なります。
カナダ	18歳以上 ※州によって異なります。	18歳以上 ※州によって異なります。	合法 日本の大麻取締法は国外での大麻の所持や購入も処罰対象としています。
オーストラリア	18歳以上	18歳以上	違法
イギリス	18歳以上 ※地域によって異なります。	18歳以上 ※地域によって異なります。	違法
フランス	18歳以上	18歳以上	違法
ドイツ	18歳以上 ※酒類によって異なります。	18歳以上	違法
中国	18歳以上	18歳以上	違法
韓国	19歳以上 満19歳になる年の1月1日以降	19歳以上	違法
台湾	18歳以上	18歳以上	違法
タイ	20歳以上	18歳以上	違法
ベトナム	18歳以上	18歳以上	違法
インドネシア	21歳以上	18歳以上	違法

飲酒が認められている国でも、公共の場所など、**飲酒ができない場所が指定されている場合があります。**

MEMO

九州産業大学 連絡先

〒813-8503
福岡市東区松香台2-3-1
九州産業大学
グローバル教育センター
TEL 092-673-5588
FAX 092-673-5611
Email: kokusai@ip.kyusan-u.ac.jp

Global Education Center
Kyushu Sangyo University
2-3-1 Matsukadai, Higashi-ku,
Fukuoka, JAPAN 813-8503

※緊急連絡先（日本時間の夜間等）→ 九州産業大学 正門守衛室（24時間対応）
TEL +81-92-673-5255